

温室効果ガス排出量検証報告書



ANA ホールディングス株式会社 御中

BUREAU
VERITAS

2019年2月28日

ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部



ビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)は、ANA ホールディングス株式会社(以下、ANA ホールディングス)により報告された2017年4月1日から2018年3月31日の期間における温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲

ANA ホールディングスはビューローベリタスに対し、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量

- ・ANA グループ国内190拠点の事業活動に伴うエネルギー起源CO₂排出量(自動車用燃料の消費に伴う排出量を含む)
- ・全日本空輸株式会社、株式会社エアージャパン、ANA ウイングス株式会社による航空機燃料の消費に伴うエネルギー起源CO₂排出量
- ・国内7空港での機体への電力供給に伴うエネルギー起源CO₂排出量

2) スコープ3 温室効果ガス排出量(GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standardに基づく)

- ・カテゴリ6: 全日本空輸株式会社の地上勤務社員による出張に伴う排出(航空機による移動を除く)
- ・カテゴリ7: 全日本空輸株式会社の地上勤務社員による国内の公共交通機関を利用した通勤に伴う排出

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のあるANA ホールディングスの関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、ANA ホールディングスの情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲にける温室効果ガス排出量データ及び情報を適切に表していない
- ・ANA ホールディングスが定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量		
スコープ1	スコープ2 (マーケット基準)	スコープ3
11,518,936 t-CO ₂ e	92,041 t-CO ₂ e	3,741 t-CO ₂ e

スコープ3 排出量の内訳は以下の通り。

カテゴリ6: 1,786 t-CO₂e | カテゴリ7: 1,955 t-CO₂e

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に180年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、ANA ホールディングスとのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有しています。